

## 生活保護制度に 関する 国と地方の 協議の方向は

木村好孝議員

現在、進められている国と地方の協議は「3年から5年ごとに保護廃止を検討する事実上の有期制の導入」「医療扶助に対する自己負担の導入」という、憲法に基づく国民の生きる権利を左右する重大な内容が柱になっているが、この内容についての考えを伺う。

また、「生活保護に関する費用の全額負担」の地方要求は、全国の各自治体の共通要求と考えるが、関係者を含めた公開での正しい協議のありかたを含めて考えを伺う。

高薄町長

生活保護者の医療扶助自己負担の導入、有期制の導入は問題点があるように感じている。生活保護者が自立できるまで、しっかりと支援することが必要

だと思っている。生活保護に関する費用の全額国庫負担については、現在、地方財政が圧迫されている状況のなかで、

国において最低限の生活を保障するという面からも、国が負担するべきだと考える。

協議のありかたとして、公開の場で関係者の意見を聞きながら、また、国民や地方の声を取り入れて協議を進めていくべきである。

## 町内巡回バスの 運行を 商業振興策 拡充に

佐藤幸一議員

商店街の売出し等は、一般的に週末が多いが、商店街振興策として、土・日に町内巡回バスを運行してはどうかか。

また、飲食店への振興策として、年末の忘年会シーズンなど、町内巡回バスの夜間運行を期間限定で行

うことはできないか、あわせて伺う。

高薄町長

町内巡回バスの土・日の運行については、日曜日に閉店している商店が多い状況から、現行では実施を考えていない。商店街の開店状況等の環境が整った場合には、運行について可能かどうか検討していきたい。

また、夜間運行は、タクシー事業者への影響等もあると思われるため、実施は難しいと考えている。

商業振興策については、商工会等と協議しながら、対策を講じていく。



11月1日から本格運行となった町内巡回バス。主に買い物や通院等で利用されている。

## 町の活性化を うながす 経済対策を

佐藤幸一議員

住宅リフォーム助成制度を検討して、地域経済の活性化をはかることは考えられないか伺う。

高薄町長

町では、耐震改修補助金制度や介護保険制度によるバリアフリー化等へのリフォーム助成制度を促進している。定住人口を増やすためにも、新たな助成制度について、財政面を考慮しながら検討したい。

## 太陽光発電 パネルの 普及対策は

佐藤幸一議員

原子力発電所の事故などにより、電力事情は大きく変わろうとしている。

地球温暖化防止のためにも太陽光発電パネル設

置に対し、支援策を検討する考えはないか。

高薄町長

国で再生エネルギー法の改正が成立したことを受け、本町でも設置の支援策について、どのような行政効果があるのかを踏まえながら考えていきたい。

## 町長 マニフェストの 中間総括

佐藤幸一議員

町長選挙で町民に約束した5本の柱と54の約束について、現時点での達成状況と総括について伺う。

また、現段階で新たな課題へ取り組んでいく考えはあるか。

高薄町長

54項目のうち、本年度に実施する項目も含めて45項目に着手し、達成率は83・3%となっている。

残っている項目として、公共施設の指定管理者制度への移行、廃屋の解体事

業、清水公園再生計画策定、子どもの権利保護等があげられる。見直しをしながら、実現に向けて努力していきたい。

## 環境対策の 取組みに対する 各課の連携を

西山輝和議員

①御影公民館、御影公園、御影保育所、世代間交流センターなどの地続き公共用地の除草作業等は、現状それぞれの所管課で対応されているが、効率面などから考えて、一元的な作業対応ができないか。

②本年度から容器包装プラスチックごみを含む資源ごみ回収の分別基準が厳しくなったが、町民から苦情・相談はあるのか。

担当課だけではなく、各課連携で対応できないか伺う。

高薄町長

①今後、各施設の所管課で協議を行い、一体性を持つ